

## 「規制改革・民間開放に関する特別世論調査」の概要

平成 17 年 11 月  
内閣府政府広報室

- 調査対象 全国 20 歳以上の者 3,000 人  
有効回収数：1,756 人（回収率 58.5%）  
調査期間 平成 17 年 10 月 6 日～10 月 16 日
- 調査目的 規制改革・民間開放に関する国民の意識を調査し、今後の施策の参考とする。
- 調査項目
- （ 1 ） 規制改革・民間開放の認知度
  - （ 2 ） 規制改革・民間開放の認知のきっかけ
  - （ 3 ） 規制改革・民間開放の推進について
  - （ 4 ） 規制改革を推進すべき分野
  - （ 5 ） 民間開放を推進すべき分野
  - （ 6 ） 行政サービスの満足度
  - （ 7 ） 行政サービスの満足していない点
  - （ 8 ） 行政サービス向上のために推進すべき事項

<お願い>

本資料の内容を引用された場合、その掲載部分の写しを  
下記宛にご送付ください。

内閣府大臣官房政府広報室  
世論調査担当

〒100-8914 東京都千代田区永田町 1 - 6 - 1  
電話 03(5253)2111 内線 82780～82783

# 「規制改革・民間開放に関する特別世論調査」の要旨

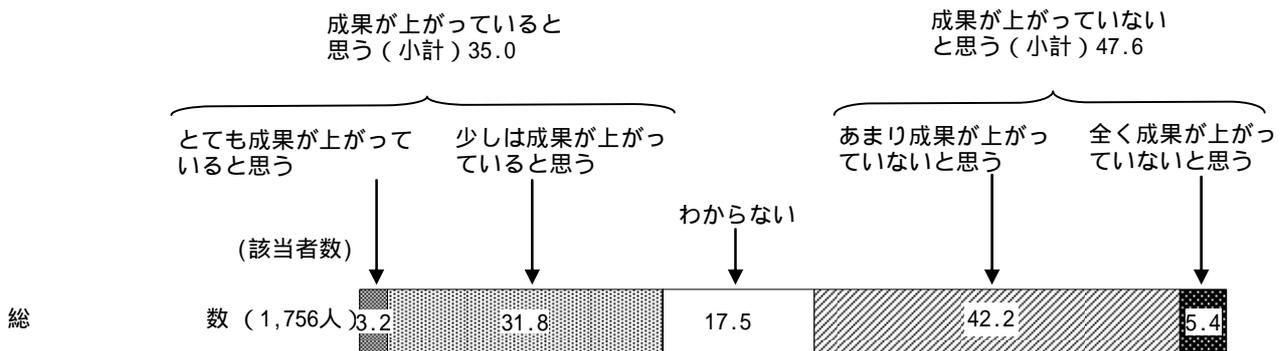
平成 17 年 11 月  
内閣府政府広報室

調査時期：平成 17 年 10 月 6 日から平成 17 年 10 月 16 日  
調査対象：全国 20 歳以上の者 3,000 人  
回収結果：1,756 人 (58.5%)

## 1 規制改革・民間開放の認知度

平成 17 年 10 月

- ・とても成果が上がっていると思う 3.2%
- ・少しは成果が上がっていると思う 31.8%
- ・あまり成果が上がっていないと思う 42.2%
- ・全く成果が上がっていないと思う 5.4%
- ・わからない 17.5%

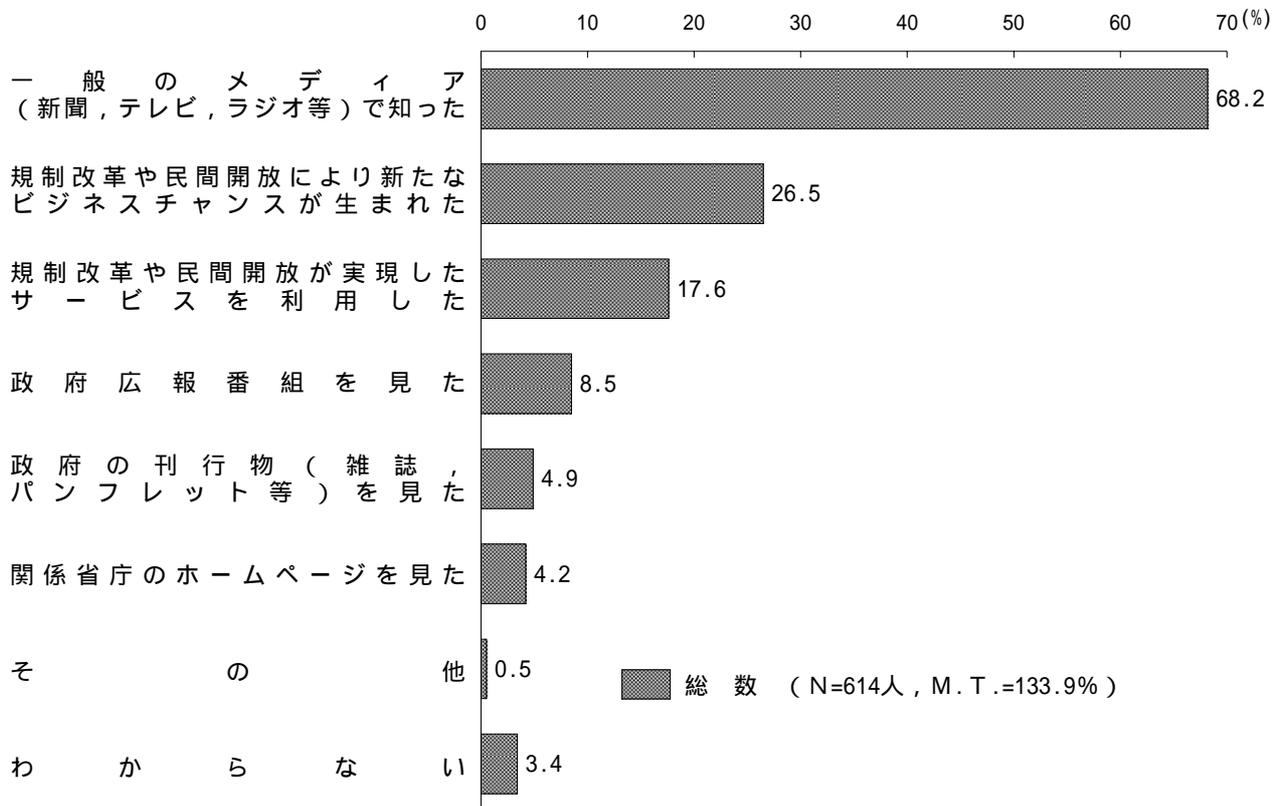


2 規制改革・民間開放の認知のきっかけ（規制改革・民間開放の「成果が上がっている」とした者（614人））

平成17年10月

- ・一般のメディア（新聞，テレビ，ラジオ等）で知った 68.2%
- ・規制改革や民間開放により新たなビジネスチャンスが生まれた 26.5%
- ・規制改革や民間開放が実現したサービスを利用した 17.6%
- ・政府広報番組を見た 8.5%

（複数回答）



3 規制改革・民間開放の推進について

平成17年10月

- ・さらに進めるべきと思う 63.5%
- ・これ以上進めるべきではないと思う 15.0%
- ・わからない 21.5%

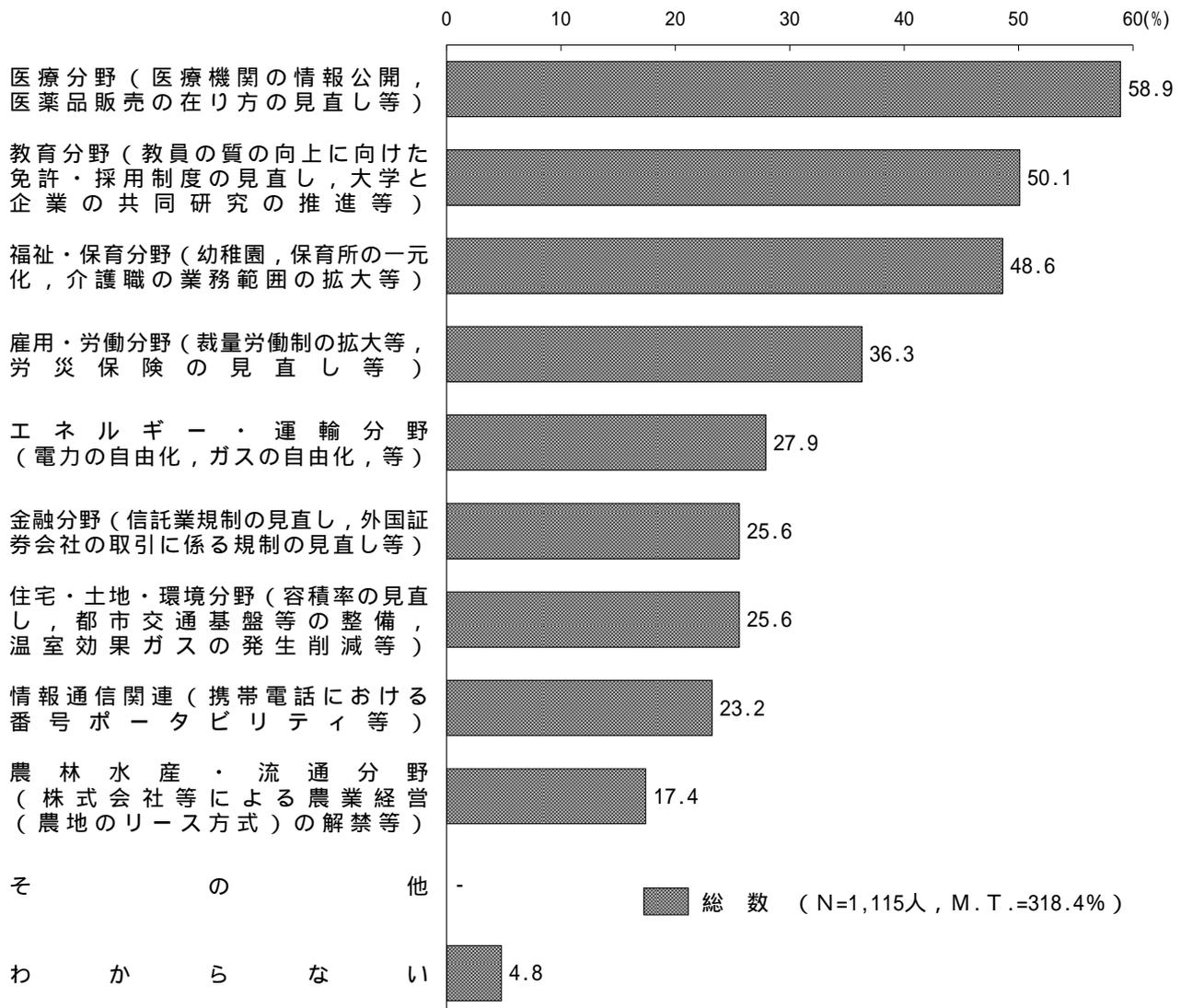


4 規制改革を推進すべき分野（規制改革・民間開放を「さらに進めるべき」とした者（1,115人））

平成17年10月

- ・医療分野（医療機関の情報公開，医薬品販売の在り方の見直し等） 58.9%
- ・教育分野（教員の質の向上に向けた免許・採用制度の見直し，大学と企業の共同研究の推進等） 50.1%
- ・福祉・保育分野（幼稚園，保育所の一元化，介護職の業務範囲の拡大等） 48.6%
- ・雇用・労働分野（裁量労働制の拡大等，労災保険の見直し等） 36.3%

（複数回答）

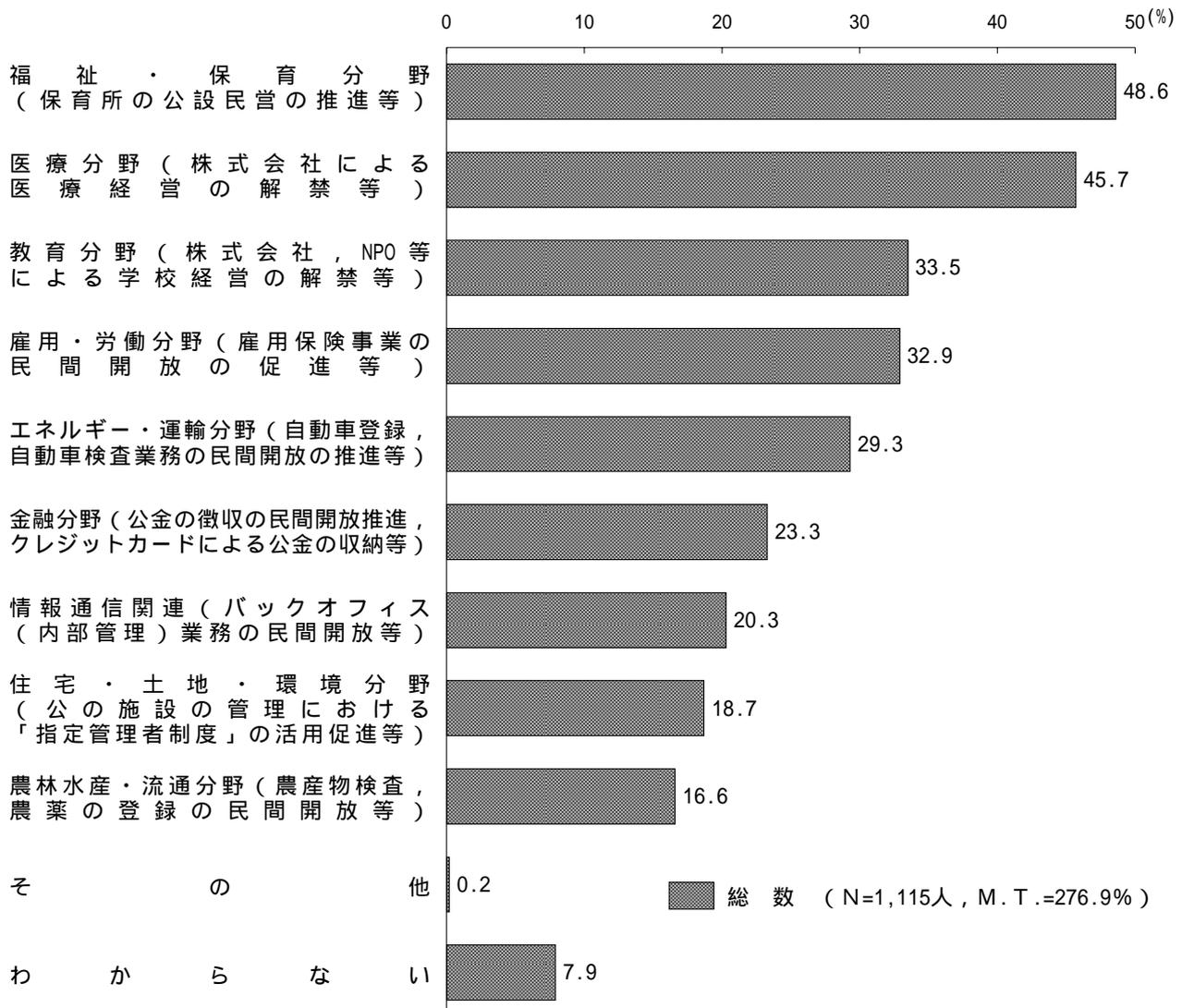


5 民間開放を推進すべき分野（規制改革・民間開放を「さらに進めるべき」とした者（1,115人））

平成17年10月

- ・福祉・保育分野（保育所の公設民営の推進等） 48.6%
- ・医療分野（株式会社による医療経営の解禁等） 45.7%
- ・教育分野（株式会社，NPO等による学校経営の解禁等） 33.5%
- ・雇用・労働分野（雇用保険事業の民間開放の促進等） 32.9%

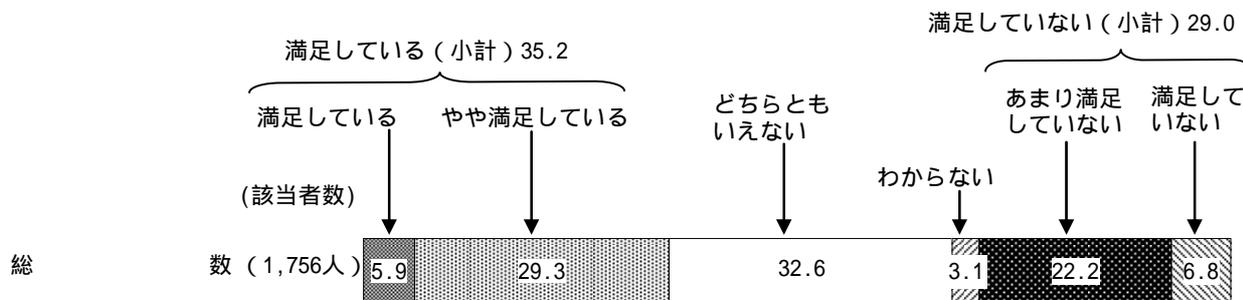
（複数回答）



## 6 行政サービスの満足度

平成 17 年 10 月

|             |       |
|-------------|-------|
| ・満足している     | 5.9%  |
| ・やや満足している   | 29.3% |
| ・どちらともいえない  | 32.6% |
| ・あまり満足していない | 22.2% |
| ・満足していない    | 6.8%  |
| ・わからない      | 3.1%  |

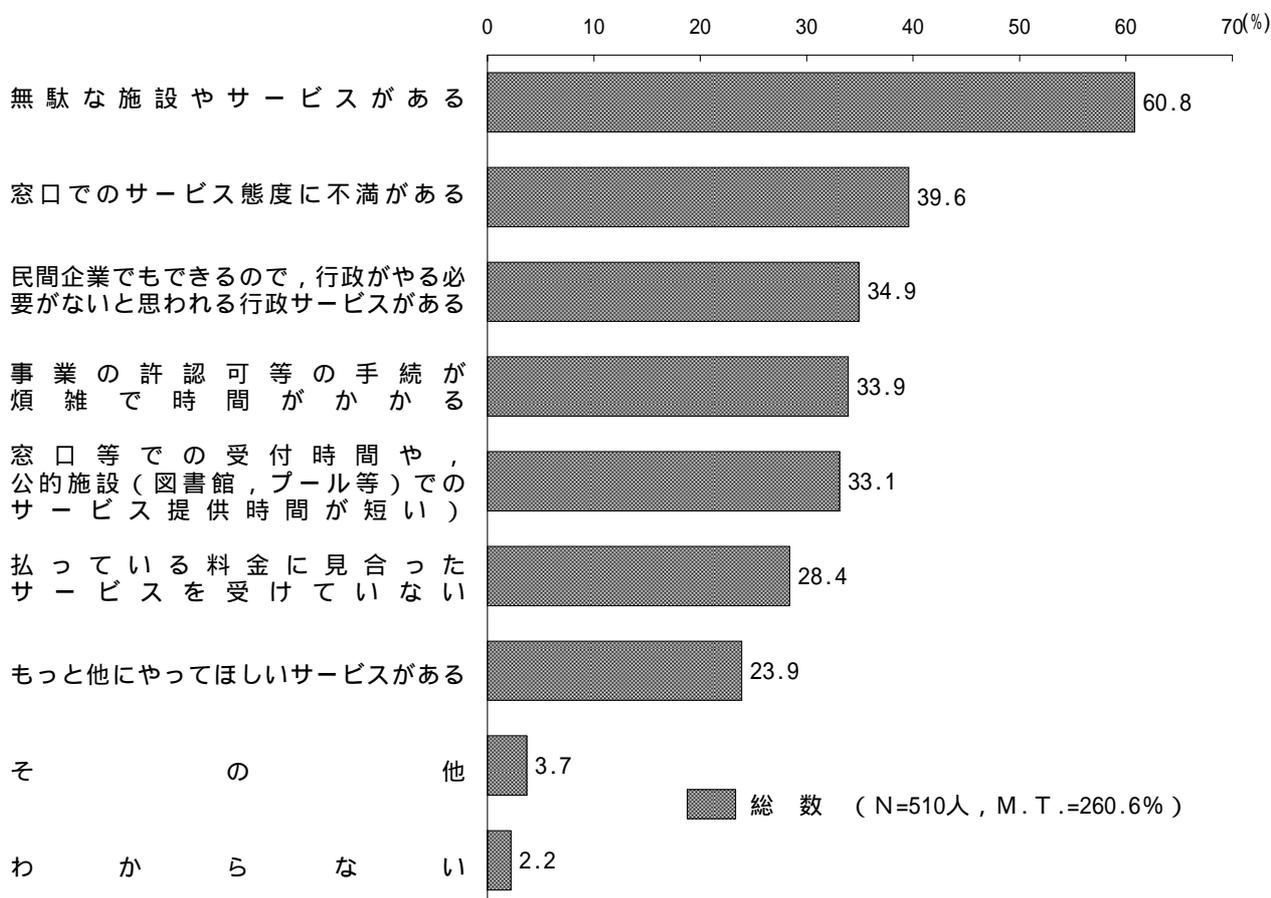


## 7 行政サービスの満足していない点 (行政サービスに「満足していない」とした者 (510 人))

平成 17 年 10 月

|                                       |       |
|---------------------------------------|-------|
| ・無駄な施設やサービスがある                        | 60.8% |
| ・窓口でのサービス態度に不満がある                     | 39.6% |
| ・民間企業でもできるので、行政がやる必要がないと思われる行政サービスがある | 34.9% |
| ・事業の許認可等の手続きが煩雑で時間がかかる                | 33.9% |

(複数回答)

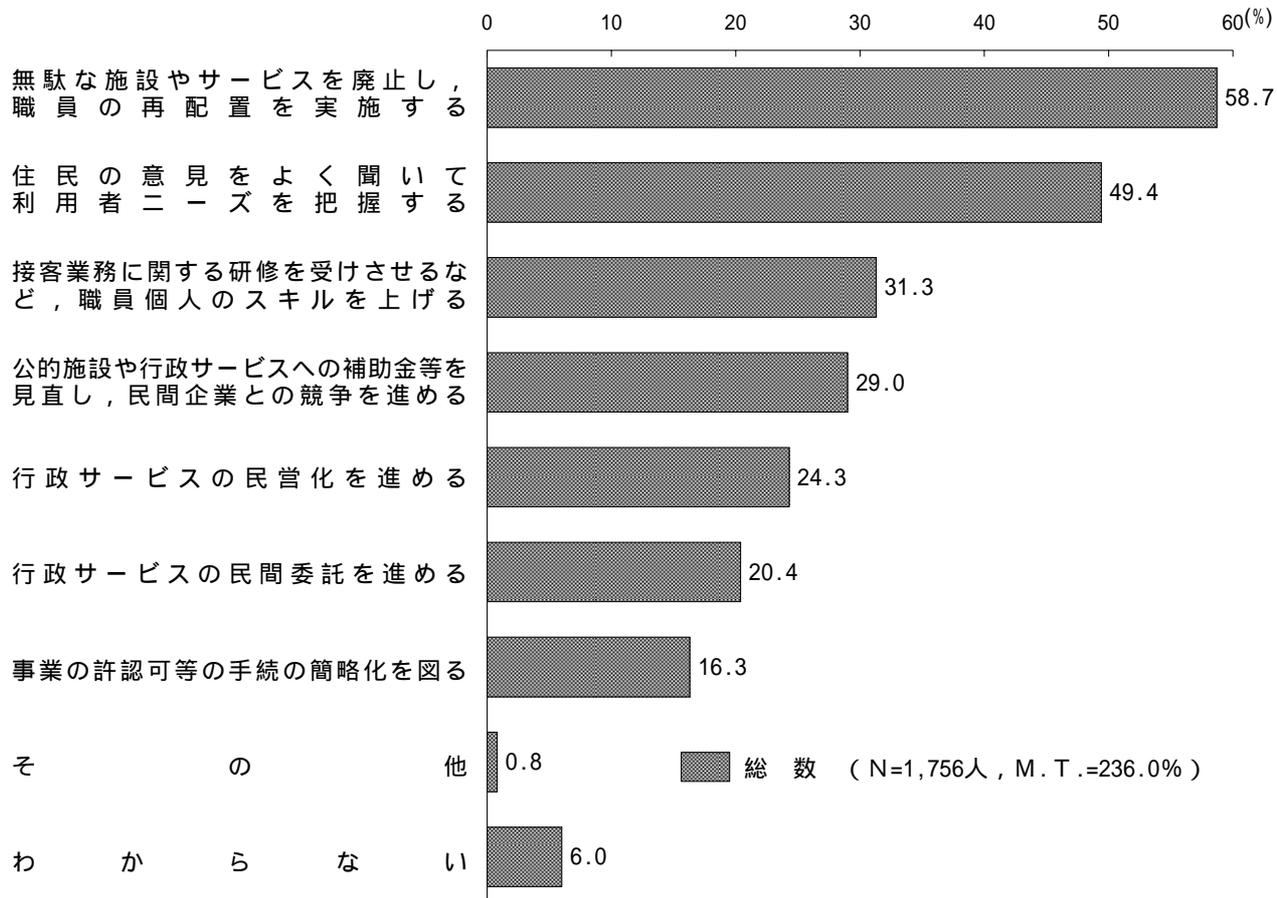


8 行政サービス向上のために推進すべき事項

平成 17 年 10 月

- ・無駄な施設やサービスを廃止し，職員の再配置を実施する 58.7%
- ・住民の意見をよく聞いて利用者ニーズを把握する 49.4%
- ・接客業務に関する研修を受けさせるなど，職員個人のスキルを上げる 31.3%
- ・公的施設や行政サービスへの補助金等を見直し，民間企業との競争を進める 29.0%

(複数回答)



## 規制改革・民間開放に関する特別世論調査

調査時期：平成 17 年 10 月 6 日から平成 17 年 10 月 16 日  
調査対象：全国 20 歳以上の者 3,000 人  
回収結果：1,756 人 (58.5%)

平成 17 年 11 月

話は変わりますが、次に時事問題として「規制改革・民間開放」についてお伺いします。

### 1. 規制改革・民間開放の認知度について

(「参考資料」を提示して、調査対象者によく読んでもらってから、以下の質問を行う。)

#### 参考資料

規制改革とは、国民の自由な選択や民間企業の経済活動を阻害する規制を緩和・廃止するものです。

民間開放とは、国や自治体を実施している事務、事業を民営化や業務委託等により民間企業がサービスを提供できるようにすることです。

現在国では規制改革と民間開放を推進しています。

Q1〔回答票 22〕あなたは、国が進める規制改革や民間開放の成果が上がっていると思いますか。それともそうは思いませんか。この中から 1 つだけお答えください。

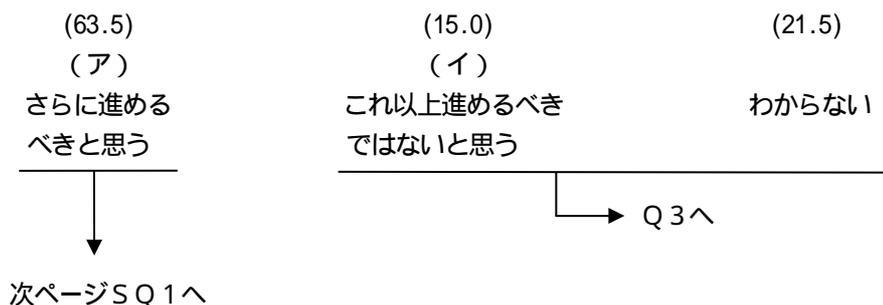
- ( 3.2 ) (ア) とても成果が上がっていると思う  
( 31.8 ) (イ) 少しは成果が上がっていると思う  
( 42.2 ) (ウ) あまり成果が上がっていないと思う  
( 5.4 ) (エ) 全く成果が上がっていないと思う  
( 17.5 ) わからない
- } Q2へ

( Q1 で、「とても成果が上がっていると思う」または「少しは成果が上がっていると思う」と答えた者に聞く )

SQ〔回答票 23〕あなたは、何を通じて規制改革や民間開放の成果が上がっていると思うようになりましたか。この中からいくつでもあげてください。( M . A . ) ( N=614 )

- ( 17.6 ) (ア) 規制改革や民間開放が実現したサービスを利用した  
( 26.5 ) (イ) 規制改革や民間開放により新たなビジネスチャンスが生まれた  
( 4.2 ) (ウ) 関係省庁のホームページを見た  
( 8.5 ) (エ) 政府広報番組を見た  
( 4.9 ) (オ) 政府の刊行物 ( 雑誌 , パンフレット等 ) を見た  
( 68.2 ) (カ) 一般のメディア ( 新聞 , テレビ , ラジオ等 ) で知った  
( 0.5 ) その他 ( )  
( 3.4 ) わからない ( M.T.=133.9 )

Q2〔回答票 24〕あなたは、規制改革と民間開放をさらに進めていくべきだと思いますか。それともそうは思いませんか。この中から1つだけお答えください。



(Q2で、「さらに進めるべきと思う」と答えた者に聞く)

SQ1〔回答票 25〕あなたは、今後更に規制改革を推進する上で、重視すべき分野はどのような分野と思いますか。この中からいくつでもあげてください。(M.A.) (N=1,115)

- (23.2) (ア) 情報通信関連 (携帯電話における番号ポータビリティ等)
- (25.6) (イ) 金融分野 (信託業規制の見直し, 外国証券会社の取引に係る規制の見直し等)
- (50.1) (ウ) 教育分野 (教員の質の向上に向けた免許・採用制度の見直し, 大学と企業の共同研究の推進等)
- (58.9) (エ) 医療分野 (医療機関の情報公開, 医薬品販売の在り方の見直し等)
- (48.6) (オ) 福祉・保育分野 (幼稚園, 保育所の一元化, 介護職の業務範囲の拡大等)
- (36.3) (カ) 雇用・労働分野 (裁量労働制の拡大等, 労災保険の見直し等)
- (17.4) (キ) 農林水産・流通分野 (株式会社等による農業経営 (農地のリース方式) の解禁等)
- (27.9) (ク) エネルギー・運輸分野 (電力の自由化, ガスの自由化, 等)
- (25.6) (ケ) 住宅・土地・環境分野 (容積率の見直し, 都市交通基盤等の整備, 温室効果ガスの発生削減等)
- ( - ) その他 ( )
- ( 4.8) わからない (M.T.=318.4)

SQ2〔回答票 26〕あなたは、今後更に民間開放を推進する上で、重視すべき分野はどのような分野と思いますか。この中からいくつでもあげてください。(M.A.) (N=1,115)

- (20.3) (ア) 情報通信関連 (バックオフィス (内部管理) 業務の民間開放等)
- (23.3) (イ) 金融分野 (公金の徴収の民間開放推進, クレジットカードによる公金の収納等)
- (33.5) (ウ) 教育分野 (株式会社, NPO 等による学校経営の解禁等)
- (48.6) (エ) 福祉・保育分野 (保育所の公設民営の推進等)
- (45.7) (オ) 医療分野 (株式会社による医療経営の解禁等)
- (32.9) (カ) 雇用・労働分野 (雇用保険事業の民間開放の促進等)
- (16.6) (キ) 農林水産・流通分野 (農産物検査, 農薬の登録の民間開放等)
- (29.3) (ク) エネルギー・運輸分野 (自動車登録, 自動車検査業務の民間開放の推進等)
- (18.7) (ケ) 住宅・土地・環境分野 (公の施設の管理における「指定管理者制度」の活用促進等)
- ( 0.2) その他 ( )
- ( 7.9) わからない (M.T.=276.9)

## 2. 行政サービスの質について

(「参考資料」を提示して、調査対象者によく読んでもらってから、以下の質問を行う。)

### 参考資料

国や地方自治体などでは、役所での窓口業務、図書館、公民館やスポーツ施設などの運営、道路の維持管理等、水道事業、下水道事業、ハローワークなどでの職業紹介等、多種多様な行政サービスを提供しています。

現在国では、行政サービス一つ一つについて、それらが真に国民生活を豊かにすることに役立っているのか、またより良い公共サービスを提供するためにはどのようにすべきか、という視点から見直しを進めています。

Q3【回答票 27】あなたは、現在の行政サービスに全体として満足していますか。それとも満足していませんか。

この中から1つだけお答えください。

- |                       |   |     |
|-----------------------|---|-----|
| ( 5.9) (ア) 満足している     | } | Q4へ |
| (29.3) (イ) やや満足している   |   |     |
| (32.6) (ウ) どちらともいえない  |   |     |
| (22.2) (エ) あまり満足していない |   |     |
| ( 6.8) (オ) 満足していない    |   |     |
| ( 3.1) わからない          | → | Q4へ |

↓  
次ページSQへ

(Q3で、「あまり満足していない」または「満足していない」と答えた者に聞く)

SQ【回答票 28】現在の行政サービスのどのような点に満足していないのですか。この中からいくつでもあげてください。(M.A.) (N=510)

- (39.6) (ア) 窓口でのサービス態度に不満がある
- (33.1) (イ) 窓口等での受付時間や、公的施設(図書館、プール等)でのサービス提供時間が短い
- (34.9) (ウ) 民間企業でもできるので、行政がやる必要がないと思われる行政サービスがある
- (60.8) (エ) 無駄な施設やサービスがある
- (33.9) (オ) 事業の許認可等の手続きが煩雑で時間がかかる
- (28.4) (カ) 払っている料金に見合ったサービスを受けていない
- (23.9) (キ) もっと他にやって欲しいサービスがある
- ( 3.7) その他( )
- ( 2.2) わからない (M.T.=260.6)

Q4【回答票 29】行政サービスの質を向上させ、より利用者にとって便利で且つ満足度の高いサービスとする為には、今後どのようなことに特に力を入れていくべきだと思いますか。この中からいくつでもあげてください。

(M.A.)

- (20.4) (ア) 行政サービスの民間委託を進める
- (24.3) (イ) 行政サービスの民営化を進める
- (31.3) (ウ) 接客業務に関する研修を受けさせるなど、職員個人のスキルを上げる
- (29.0) (エ) 公的施設や行政サービスへの補助金等を見直し、民間企業との競争を進める
- (58.7) (オ) 無駄な施設やサービスを廃止し、職員の再配置を実施する
- (49.4) (カ) 住民の意見をよく聞いて利用者ニーズを把握する
- (16.3) (キ) 事業の許認可等の手続きの簡略化を図る
- ( 0.8) その他( )
- ( 6.0) わからない (M.T.=236.0)